

事業所内人権啓発研修用教材一覧(DVD教材)

県では、各企業で同和問題をはじめとする研修に活用していただくための教材を準備しています。参加者による話し合いのできる教材などを取りそろえていますので、積極的にご活用ください。詳細は、下記までお問合せをお願いします。

滋賀県商工労働部商工政策課
TEL:077-528-3711
(来庁いただける場合、貸出は無料です)

NO	題名	製作年/ 時間	概要
1	それぞれの立場それぞれのきもち	2011年/28分	日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げ、年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って、問題解決のヒントを示していく内容になっています。
2	心のケアと人権職場編	2011年/22分	ストレスと仕事の過重により、うつ病と診断された中堅サラリーマンに対し、周囲は「さぼり」、「言い訳」などと陰口を叩きます。今後の対処に悩んだ上司は、人事労務担当の課長と面談し、課内の問題点について話し合うことで、何でも話し合え、お互いに支えあう職場環境を作ることが大切だと悟っていく内容になっています。
3	今、地域社会と職場の人権は！	2011年/36分	「増え続ける高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワハラ、セクハラの問題」「同和問題」に職場の観点から視点をあて、誰もが職場や地域で自分のもっている能力や個性を發揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかける作品となっています。
4	職場再点検シリーズ メンタルヘルス編 第1巻 チェックしよう！あなたの職場	2011年 第1巻/27分	このDVDは、どこにでもある職場の風景から、どのような点に何故気を配らなくてはならないのかを、事例をもとに解説し、実際の職場再点検に役立てられる教材です。
5	職場再点検シリーズ メンタルヘルス編 第2巻 心の不調の気づき方	2011年 第2巻/18分	”
6	エゴグラムで気づこう元気な職場をつくるメンタルヘルス3 第2巻 ストレス時代におけるラインによるケア	2011年/25分	知ってるつもりで意外に知らない、自分自身の行動や考え方のクセ。それが普段のコミュニケーションやストレスと大いに関わっています。このシリーズは、エゴグラムに見る自分の行動・性格の傾向から、コミュニケーション不全によるストレスを減らすことを目的とした教材です。
7	みんなで語ろう！公正な採用選考	2013年/26分	この作品では、職場でありがちな採用選考に関わる事例を短くとりあげ、その事例から考えるべき公正採用選考の基本的な考え方を学ぶものです。
8	なぜ企業に人権啓発が必要なのか	2014年/22分	この教材は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための素材としてご活用いただける教材です。
9	新・人権入門	2014年/25分	このDVDでは企業の人事担当者から取材した、実際の出来事を16のショートドラマとして構成。視聴者が見たドラマには、一体どんな人権課題が含まれていたのかを考えることのできる教材です。
10	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅰ	2015年/25分	多様化する職場や人間関係の中で、ちょっとしたコミュニケーションの不和によって様々なハラスメントの芽は発生しているのです。どこの企業でもあり得そうなショートドラマとその振り返りを通じて、多様性を尊重したコミュニケーションとは何かを視聴者に考えさせるドラマ教材
11	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権Ⅱ	2015年/25分	外国人社員や障がいのある社員の増加等、あらゆる場面で職場の多様化が進む現代社会。企業の多様化が原因で発生する人権課題とその解決のヒントを分かりやすく描くドラマ教材です。
12	フェアな会社で働きたい	2015年/25分	企業がさまざまなステークホルダーの人権を尊重することは、現代の企業にとって必須のことであり、またそのための社員教育も重要になっています。しかし、社員が人権について具体的に自分のこととしてとらえることは、難しい事でもあります。このDVDでは、人事部の新入社員の体験をドラマにして、企業における人権のありかたと公正な採用選考について学ぶことのできる教材です。

NO	題名	製作年/ 時間	概要
13	セクハラ・パワハラ処方箋 最新4プログラム	2015年 第1巻22分/ 第2巻30分/ 第3巻18分/ 第4巻23分	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム1「セクハラ・パワハラは人権問題です」ハラスメントの現状について ・プログラム2「ご存知ですか？ 刑法・民法く均等法」セクハラ・パワハラは刑法・民法よりも広い。様々なケースを具体的に明示し、共に考えていく ・プログラム3「理性と感情、どちらで動きますか？」では、セクハラ・パワハラ問題に対して、どう対処するのか？ ・プログラム4「最新対処法アンガーマネジメント」お互いの許容範囲を広げていくことで無駄な摩擦を事前に防止する。では、その方法とは？
14	企業活動に人権の視点を ～CSRで会社が変わる・社会が変わる～	2015年/103分	<p>(公財)人権教育啓発推進センターが平成14年度以降に開催した「CSR(企業の社会的責任)と人権セミナー」発表された先駆的な5つの事例をまとめたものです。実際の取り組みの様子や専門家による解説が加えられており、企業におけるCSRや人権推進の実例を学ぶことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例1 障がい者雇用 事例2 高齢者雇用 事例3 ワーク・ライフ・バランス 事例4 継続的な震災復興支援 事例5 人権に関する社会講演解説
15	人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか	2017年/25分	<p>いま、企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。そこで、この作品では、企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもたらすということ、ドラマ形式で事例をとりあげながら考えていく教材です。</p>
16	誰もがその人らしく～LGBT～	2017年/20分	<p>この作品は、主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリーです。LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだ強く、存在していてもなかなか見えない。その存在を見たいというのが現状です。しかし、各種の統計からも明らかのように、LGBTの人たちは確かに存在し偏見や差別に苦しんでいます。このDVDでは、LGBTの人たちへの見方をひろげ、誰もが生きやすい社会をつくる一歩へために作られた教材です。</p>
17	わからないから、確かめ合う ～コミュニケーション～	2018年/29分	<p>長時間労働による過労死、セクハラ、パワハラなどのハラスメント、不当な差別など企業に関わる様々な人権問題が起っています。こうした人権問題への対応は、企業の価値に大きく関わります。そのため、企業のCSRに対する関心の高まりと相まって、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に採り入れたり、職場内で人権研修を行う企業も増えてきています。このDVDは、ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取上げ、コミュニケーションを解決策とした事例を盛り込んだ教材です。</p>
18	お互いの本当が伝わる時-障害者-	2018年/24分	<p>改正障害者雇促進法、障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者や事業主に対して、障害者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」と合理的配慮の提供義務が定められました。しかし障害のある人に対する差別は解消されたとは言えず、また意図せずとも相手を傷つけているケースも少なくありません。このDVDは、障害のある人がどんな場面で困っているのか、どんなバリアがあるのかなどについて具体例、解決策を盛り込んだ教材です。</p>
19	知りたいあなたのこと 外見ではわからない障害・病気を抱える人	2019年/21分	<p>外見からではわからない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害を持つ大学生を取材され、障害や病気を抱える人への、具体的な配慮を共に考えられる作品となっています。</p>
20	多様性入門	2019年/27分	<p>企業では、いま、多様性を尊重することへの重要性が高まっており、多様な価値観、多様な属性を持った働き手が増えてきています。多様性とは、外国人、障害者、高齢者などの多様な価値を受け入れることと認識されています。しかし、この教材はそれらの思い込みに対して一石を投じるものになっており、身近で誰もが経験しうる事例が丁寧な解説され、多様性尊重の入門編となっています。</p>

NO	題名	製作年/ 時間	概要
21	なぜ公正採用選考は基本なのか	2019年/25分	採用選考の場合は、企業のあり方を社会に表現できる重要な場です。その採用選考時に公正さを欠くと、企業の社会的信頼性を失うだけでなく、適正と能力を備えた人材を採用することができなくなります。このDVDは、採用時に起こりうる不適切な場面が面接ロールプレイ形式で描かれます。公正な採用選考の基本について学ぶことができる作品となっています。
22	ハラスメント・しない、させないための双方向コミュニケーション	2019年/26分	近年、企業にとってハラスメントを防止することは重要な課題となっています。ハラスメントが発生すると、職場環境が悪化し、社員のモチベーションの低下につながります。このDVDでは、「セクシュアルハラスメント」「マタニティハラスメント」「パワーハラスメント」を題材に、ハラスメントを防止するための双方向コミュニケーションについて学ぶことができる作品となっています。
23	企業活動に人権的視点を2 ～会社や地域の課題を解決するために～	2019年/97分	(公財)人権教育啓発推進センターが平成14年度以降に開催した「CSR(企業の社会的責任)と人権セミナー」発表された先駆的な5つの事例をまとめた第二弾です。実際の取り組みの様子や専門家による解説が加えられており、企業におけるCSRや人権推進の実例を学ぶことができます。 事例1 ユニバーサルデザイン 事例2 ワーク・ライフ・バランス 事例3 外国人雇用 事例4 LGBTへの対応 事例5 地域社会への講演(SDGsの実践)解説
24	許すな「えせ同和行為」	2020年/36分	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指し、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長するものです。このDVDでは、「えせ同和行為」をはじめとする不当要求行為や、その対策を、ドラマ形式でわかりやすく紹介しています。
25	出会いを豊かなものに ～公正さでのぞむ採用選考～	2021年/30分	採用選考の場を企業と応募者にとって豊かな出会いの場とすることは、両者にとって有益となります。このDVDでは、架空の企業を舞台に、企業グループ各社の人事担当者が、よりよい採用選考の在り方を考えるという設定で物語が進行していき、立場や知識の違う多様な立場の採用担当者目線で視聴できる作品となっています。
26	ハラスメント対峙(退治)・心の視野をひろげて	2021年/27分	コミュニケーションにおいては、発し手・受け手・周囲の人、職場のメンバーひとりひとりがそれぞれの状況や個性にあった言い方をすることで、ハラスメントは生まれにくくなります。このDVDでは、働く場でハラスメントを生まないための、コミュニケーションのあり方を、様々なグレーゾーン事例から学んでいきます。
27	小さな歩みを見つけよう ～職場の人権 気づきポイント集～	2021年/24分	職場での働き方がますます多様になってきている現代において、“仲間とともに自分らしく働く”ためには、日々の気づきが重要となってきます。このDVDでは、人権啓発室のメンバーが8つの再現ドラマを作り、社内での感想コメントを受けて、多様な人権への気づきを探していきます。
28	想いの”架け橋”になる 公正な採用選考のために	2022年/28分	採用選考は、応募者と企業の想いを結ぶ“架け橋”、と言えます。採用選考の場においては、応募者の人権を尊重し、広く門戸を開くことが大切です。また、適性と能力をはかる適切な評価基準をつくることも重要です。この作品は、人事部に配属された新入社員が、上司のあたたかい指導を受け、同期入社員と心の交流をしながら、人事部員として採用選考の基本を身に付けていく成長のものがたりです。
29	人権のすすめ [ハラスメント編/いろいろな性編/障害者編]	2022年/25分	この教材は、職場における「ハラスメント」「いろいろな性」「障害者」をテーマに取り上げ、それぞれを独立したミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題を学んでいく教材です。 ①ハラスメント編(8分)…「ジェンダーハラスメント」他 ②いろいろな性編(8分)…「性のあり方」他 ③障害者編(9分)…「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」他
30	誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ① よかったら”想い”を聴かせて ～自分も相手も大切にするために～	2022年/29分	この教材では、「ハラスメント」をはじめとした職場における6つの人権テーマ※を切り口に、自分も相手も大切にするためのコミュニケーションについて、ドラマを通して学んでいきます。 ※6つの人権テーマ ・ハラスメント・いろいろな性・外国人・障害者・働き方・部落差別

NO	題名	製作年/ 時間	概要
31	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	2023年/ ロング:36分 ショート:14分	今、企業では自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。本DVDでは、「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報を分かりやすく紹介しています。 ※DVDビデオ対応プレーヤーで再生すること。PCなどでは再生できない場合あり。
32	ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見 アイコンシャス・バイアス	2023年/24分	「アイコンシャスバイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことです。日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。この教材では、登場人物の視点や立場が変化する構成によって無意識の偏見を見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えることができる内容となっています。
33	言葉があるから 無自覚の差別 マイクロアグレッション	2023年/31分	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的思考など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために、属性に囚われずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを描いています。
34	ともに歩むために ～公正な採用選考の理解と認識をめざして～	2023年/28分	ある企業の人事職員が採用選考において相次ぐ内定辞退に直面し、自身の会社できちんと公正な採用選考が行われていたのか、人権意識やCSR(企業の社会的責任ある行動)の観点で無意識のつまづきが無かったか、採用プロセスの検証と点検を行っていくことで、改めて公正な採用選考に向き合う物語です。働く従業員ひとりひとりが人権意識を持って共に歩むために、公正な採用選考の理解と認識をめざす映像教材です。
35	ドラマで学ぶ ビジネスと人権	2024年/23分	「ビジネスと人権」は企業の経営に関わる課題であるために、個人にとってはどこか遠いことのように思われがちです。本作は、誰もが「ビジネスと人権」について自分ごととして考えることを目的とし、サプライチェーンの人権デュー・デリジェンスまで、ドラマを交えて分かりやすく解説する教材です。
36	ハテナを分かち合い、カラフルを分かり合う	2025年/26分	職場には多様な価値観や背景を持つ従業員が集い、そこには様々な人権課題が存在しています。本教材では「世代間ギャップ」「アンコンシャス・バイアス」「多様な性」「こころの病気」「部落差別」などをテーマに、互いの状況や抱える思いに目を向けること、そして気づいた違和感(=ハテナ)を伝えあうことの大切さを示します。
37	「無自覚」に気付く! ～誰もが当事者 職場のハラスメント～	2025年/25分	職場でのハラスメントは誰もが当事者になる可能性があり、「自分には関係ない」「自分は大丈夫」という思い込みが、ハラスメントの原因になることがあります。本作は、近年多発している事例を取り上げ、年齢・性別・立場もさまざまな人物を描くことで、自身の日頃の言動を顧みることを促すドラマ教材です。